

《特定非営利活動法人 エンパワメントかながわ 平成27年度 活動報告》

I. CAP(子どもへの暴力防止)プログラム提供事業



1. 主な活動実績

イジメ、虐待、連れ去りなど、子どもたちがさらされている社会情勢は、安心なものといえない。暴力にあわずに安心して生きていく権利を多くの子ども達に伝え続けていく体制を維持するために、以下の事業を行った。

①寄付によって CAP プログラムを提供する仕組みづくりとして、「1 万人の子どもに CAP を届けるキャンペーン」事業を引き続き行った。

・かながわ生き活き市民基金「エラベル」プログラムによって、12 月 1 日～3 月 20 日の期間に支援をお願いしたところ、3 月 20 日までに、750,700 円の寄付が集まり、手数料を差し引いた 638,095 円を受領した。

・CAP キャンペーンを活用して、県内の小学校 26 校 64 クラスの小学生 1,894 人に CAP を提供することができた。本キャンペーンでの受講者数は、2,415 人となった。

②1 万人の子どもに CAP を届けるキャンペーンの中間報告会を兼ねて、5 月 17 日森田ゆりさんを招き「子どもと性暴力～沈黙を破って～」講演会を実施した。



③川崎市内での中学生殺害事件を受け、被害生徒が在籍している中学校全生徒対象に、CAP プログラムを提供した。

11 月 18 日スタッフ総勢 21 名がボランティアで実施した。

④寄付によって、川崎市内中学校に CAP を届けるために川崎市教育委員会の協力を得て実施校を募り、かわさき市民資金「あとおし」プログラムによって、11 月 5 日～2 月 29 日までの期間に支援をお願いしたところ、2 月 29 日までに、425,824 円の寄付が集まり、手数料を差し引いた 361,950 円を受領した。

新年度、川崎市内中学校での実施希望は 4 校、別途自己資金にて 1 校の実施が既に決定した。

⑤神奈川県内の 6 つの CAP グループが連携する CAP 月間事業として、土井高徳氏を招き講演会「思春期の子どもの理解と対応～CAP 中学生プログラムの体験と土井ホームの実践」を開催した。

・第 1 部では、中学生向け CAP プログラムの体験を行い、寄付募集についても広報した。

・第 2 部では、土井高徳氏に困難を抱えた若者の支援についてご講演いただいた。

⑥寄付集めを目的としてかながわ県民センター会議室にて、

ドネーションパーティーを開催し、60,000 円の寄付を受領した。

⑦川崎市内中学生殺害事件から一周年に近い 2 月 21 日、

「いのちキャンペーン」として川崎駅前にて路上ライブ、

川崎市教育文化会館にてシンポジウムを開催した。



⑧川崎市、相模原市、横浜市鶴見区から委託を受け事業を実施した。

2. 年間ワークショップ数

289 回を実施。(計画は、307 回)

プログラム	対象	実績	計画
小学生プログラム	おとな向け(保護者)	25	20
	おとな向け(教職員)	1	4
	子ども向け	134	142
中学生プログラム	子ども向け	29	5
	おとな向け(教職員・保護者)	3	0
就学前プログラム	おとな向け(保護者)	0	2
	子ども向け	2	4
CAP キャンペーン	子ども向け(小学生)	66	100
	おとな向け(保護者・教職員)	26	30
施設	子ども・おとな	4	0
	合計	290	307

※教職員向けは対象が教職員のみの開催数とします。

3. 行政委託事業

川崎市教育委員会・相模原市教育委員会・横浜市鶴見区地域振興課

川崎市教育委員会事業 小学校 17 校 54 クラス

相模原市教育委員会事業 小学校 12 校 39 クラス

横浜市鶴見区地域振興課事業 小学校 9 校 31 クラス 保護者向け 2 回

4. 「1万人の子どもに CAP を届けるキャンペーン」

概要: 支援者からの寄付 1 万円で交通費等の経費を賄い、1 クラス(40 人まで)の子どもたちとその学校の保護者や教職員に提供する。受講した子どもが 1 万人に達した時点で終了する。(2014 年 9 月開始)

対象: 神奈川県内の小学校

クラスごとに子ども向け CAP プログラムを提供する。(1 学年のクラス数まで応募可能)

実施条件: 子ども向け CAP プログラムの他に、おとな向け(保護者または教職員向け)を実施する。

実施校名・受講者数などをエンパワメントかながわの HP 等で公表する。

受講した子どもの感想を寄付者に贈ることに協力いただく。

実績: 2016 年 3 月までに、以下の 26 校 66 クラスで実施。

本キャンペーン開始からこれまでに 2,415 人の小学生が受講した。

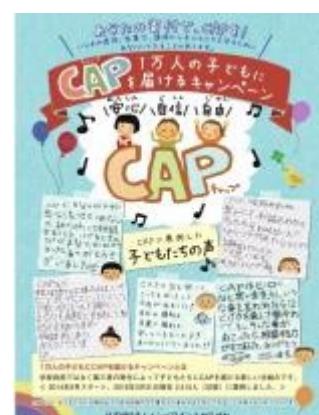
5 月 26 日 横浜市立藤塚小学校(4 年生 2 クラス)7 月 2 日保護者向け

6 月 5 日 川崎市立下平間小学校(4 年生 3 クラス)同日保護者向け

6 月 29 日 葉山町立一色小学校(3 年生 3 クラス)7 月 1 日保護者向け

7 月 2 日 横浜市立東品濃小学校(5 年生 2 クラス)11 月 19 日保護者向け

7 月 3 日 横浜市立西寺尾小学校(4 年生 2 クラス)同日保護者向け



- 7月14日 伊勢原市立石田小学校(1年生3クラス)同日保護者向け
- 7月16日 横浜市立さちが丘小学校(1年生4クラス)7月13日保護者向け
- 9月4日 横浜市立大口台小学校(3年生2クラス)7月23日保護者向け
- 9月7日 茅ヶ崎市立小出小学校(3年生2クラス)同日保護者向け
- 9月8日 横浜市立八景小学校(5年生3クラス)7月24日教職員向け
- 9月9日 横浜市立平戸台小学校(6年生2クラス)11月5日保護者向け
- 9月14日 山北町立三保小学校(高学年、低学年2グループ)7月28日教職員向け
- 10月7日 川崎市立東住吉小学校(4年生2クラス)同日保護者向け
- 10月16日 横浜市立戸部小学校(2年生2クラス)同日保護者向け
- 10月26日 横浜市立霧が丘小学校(4年生3クラス)同日保護者向け
- 10月28日 横浜市立永田台小学校(4年生2クラス)同日保護者向け
- 10月30日 横浜市立市沢小学校(2年生2クラス)同日保護者向け
- 11月2日 横浜市立東汲沢小学校(2年生3クラス)3月3日保護者向け
- 11月5日 小田原市立下中小学校(3年生2クラス)8月24日教職員向け
- 11月30日 三浦市立初声小学校(3年生3クラス)11月10日教職員向け
- 12月9日 横浜市立万騎が原小学校(3年生2クラス)7月22日教職員向け
- 12月15日 横浜市立旭小学校(3年生3クラス)同日保護者向け
- 12月16日 平塚市立真土小学校(6年生3クラス)8月26日教職員向け
- 12月17日 横浜市立六ツ川小学校(4年生3クラス)9月28日保護者向け
- 12月3日 横浜市立芹が谷小学校(3年生2クラス)同日保護者向け
- 2月2日 横浜市立美しが丘西小学校(3年生4クラス)同日保護者向け



決算:

2016年3月末までにCAPキャンペーンに集まった寄付額は、809,580円。前年度期首残高860,588円と合わせて1,670,168円のうち、920,000円を使用したため、残額750,168円を翌期に使用することとする。

5. 主催イベント

日時	タイトル・内容	会場	参加人数
5月17日(日) 10時~12時20分	「1万人の子どもにCAPを届けるキャンペーン」 中間報告会・講演会「子どもと性暴力～沈黙をやぶって～」 講師:森田ゆり	かながわ県民センタ 一 301会議室	72人
12月6日(日) 12時~17時15分	「思春期の子どもの理解と対応～CAP 中学生プログラムの体験と土井ホームの実践」 講師:土井高徳	かながわ県民センタ 一 711会議室	49人
1月24日(日) 17時30分~19時30分	エンパワメントかながわドネーションパーティー 「子どもたちの未来のためにあなたにできること」	かながわ県民センタ 一 304会議室	30人

2月4日(木) 18時30分～20時	中学生向け暴力防止プログラムおとな説明会	中原市民館第3会議室	12人
2月21日(日) 15時30分～17時30分 18時～19時30分	第1回いのちキャンペーン「川崎から愛をこめて」	川崎駅前 川崎市教育文化会館 視聴覚室	多数 10人
3月13日(日) 14時～16時	市民活動フェア2016「暴力からの守り方 子どもに伝えたい」	かながわ県民センター 711会議室	5人

II. デートDV予防・啓発事業



1. 主な活動実績

- ①日本財団預保納付金にかかる助成金によって、新たに高校生向けデートDV予防プログラムの実施者養成事業を行なった。
- ②日工組社会安全財団によって、デートDV110番を運営し、年間325件の相談を受け付けた。
- ③男女共同参画センター横浜からの委託を受け、横浜市内中学校・高等学校に対し、30回のワークショップを提供した。
- ④ワークショップの提供においては、川崎市人権・男女共同参画室、かながわ男女共同参画センター、逗子市、茅ヶ崎市、茨城県古河市などから委託を受けて中学校・高等学校・大学で実施した。
- ⑤かながわ女性センター 社会参画活動推進事業によって、デートDVの相談対応を学ぶための一般向け、教職員向けの研修を実施した。
- ⑥スマートイルミネーション横浜の連携プログラムとして、
みなとみらい象の鼻パークにて、「デートDV防止ひかりの実イルミネーション」
のイベントを実施したところ、400名の来場者があった。
- ⑦ガールスカウト日本連盟に共催を依頼し、デートDV防止スプリング・フォーラム
を開催した。岩手県・長野県・埼玉県・静岡県・長崎県などから41名が参加した。
- ⑧「SNSと撮影についての意識調査」をインターネット上で行い、254名の回答があり、
結果を発表したところ、新聞各紙とテレビニュースで取り上げられた。
- ⑨ファイザープログラムから助成が決まり、「デートDVの実態から女性の生きづらさと
適切な支援方法を明らかにするための研究」が始まった。



2. 年間ワークショップ数

110回を実施。(計画は92回)

	対象	実績	計画
男女共同参画センター横浜	中学生向け	16	30
	高校生向け	12	
	教職員向け	2	
かながわ男女共同参画センター	高校生向け	1	3
	大学生向け	3	
川崎市(男女共同参画センター・人権男女共同参画室)	高校生向け	2	5
	大学生向け	5	
その他	中学生向け	3	28
	高校生向け	4	
	大学生向け	6	
	おとな向け(教職員等)	7	11
養成講座	相談員・実施者 (基礎研修・中学生向け ・高校生向け)	38	5
リボン・プロジェクト	高校生向け	11	10
合計		110	92

3. 行政委託事業

①男女共同参画センター横浜「デートDV防止啓発」事業

公益財団法人横浜市男女共同参画推進協会(男女共同参画センター横浜)より委託を受け、横浜市内の中学校(14校)、高校(9校)、において生徒向けおよび教職員ワークショップを実施し、合計約4,200人が受講した。

②神奈川県立かながわ男女共同参画センター「デートDV防止講座」事業

神奈川県立かながわ女性センターより委託を受け、県内の大学3校において、約400人の大学生に、デートDV予防ワークショップを実施した。

③川崎市男女共同参画センター委託事業

川崎市男女共同参画センターより委託を受け、高等学校2校においてワークショップを実施し、約830人が受講した。

④川崎市人権・男女共同参画室委託事業

川崎市人権・男女共同参画室より委託を受け、大学および専門学校5校にてワークショップを実施し、約700人が受講した。

4. 助成金事業

①日本財団預保納付金にかかる助成金事業「高校生向けデート DV 予防プログラム実施者養成」事業

教材作成と養成講座の実施

エンパワメントかながわ高校生向けデート DV 予防プログラムの実施者を養成するために、DVD 教材・テキストの作成を行った。教材として、3 名の役者に依頼し、動画を撮影した。基礎研修(1 日)と養成講座(3 日間)を川崎・東京の 2 か所にて開催し、全講座修了者は 9 名であった。また、昨年度中学生向け予防プログラムの実施者養成講座修了者へのフォローアップ研修(1 日)を実施したところ 9 名が参加した。

なお、川崎会場での実施は、川崎市男女共同参画センター協働事業として、広報支援、会場使用の協力を得た。

さらに助成事業以外に、中学生向けデート DV 予防プログラム実施者養成講座を東京と横浜で開催し、4 名が修了した。

決算:

収入 助成金	2,960,000	支出 諸謝金	1,939,000
自己資金	107,981	交通費	235,886
		委託費	400,000
		所費	493,095
収入合計	3,067,981 円	支出合計	3,067,981 円

②公益財団法人日工組社会安全財団助成金事業「デート DV 電話相談事業および電話相談員養成事業」

4 日間の電話相談員を養成したところ、8 名が修了した。また、デート DV110 番をフリーダイヤルとして継続したところ、相談件数がこれまでの 3 倍の年間 325 件となった。

決算:

収入 助成金	1,444,616	支出 人件費	1,290,460 (雑給他)
参加費	165,000	通信費	195,541
自己資金	353,063	委託費	319,916
		所費	156,762
収入合計	1,962,679 円	支出合計	1,962,679 円

5. 主催イベント・講座

日時	タイトル・内容	会場	参加人数
4月18日(土)・19日(日)・25日(土)・26日(日) 9時30分～16時30分	デート DV110番電話相談員養成講座 うち26日(日)午前の部は公開講座として 特別講座「デート DV 事例検討会」を実施した。	ウィリング横浜 男女共同参画センター 横浜	延べ 35 人
8月8日(金) 10時～12時	AIDS 文化フォーラム 2015「あなたもファシリテーターになりませんか？」	かながわ県民センター 305会議室	20 人
8月18日(火) 10時～17時	デート DV 予防プログラム実施者養成講座 基礎研修	川崎市男女共同参画センター	7 人

8月19日(水)～21日 (金)10時～17時	高校生向けデートDV予防プログラム実施者養成講座	川崎市男女共同参画センター	延べ30人
8月22日(土) 10時～17時	中学生向けデートDV予防プログラム実施者養成講座修了者対象フォローアップ研修	川崎市男女共同参画センター	9人
9月19日(土) 10時～17時	デートDV予防プログラム実施者養成講座基礎研修	ゼンハーモニック	4人
9月20日(日)・21日 (祝)10時～17時	中学生向けデートDV予防プログラム実施者養成講座	ゼンハーモニック	延べ7人
10月30日(金)～ 11月3日(祝)	デートDV防止ひかりの実イルミネーション	みなとみらい象の鼻パーク	400人
11月8日(日) 10時～17時	デートDV予防プログラム実施者養成講座基礎研修	かながわ県民センター	2人
11月21日(土)～23日 (祝)10時～17時	高校生向けデートDV予防プログラム実施者養成講座	ゼンハーモニック	延べ15人
1月9日(土) 10時～17時	デートDV予防プログラム実施者養成講座基礎研修	ウィリング横浜	1人
1月10日(日)・11日 (祝)10時～17時	中学生向けデートDV予防プログラム実施者養成講座	ウィリング横浜	延べ2人
3月20日(日) 10時～16時	デートDV防止スプリング・フォーラム2016	ガールスカウト会館	41人

III. 各種人権啓発事業



1. 主な活動実績

①すきっぷ(子どもの護身法)プログラム

- ・逗子市教育委員会からの委託を受け、市内5校の小学校1、2年生に全27クラスに実施した。
- ・継続校3校での1年生と保護者にむけてプログラムを実施した。
- ・かながわ地域支援事業にて、神奈川区内公共施設にてすきっぷ公開講座2回を実施するとともに、神奈川区内小学校1～3年生の家庭向けにイベントチラシを配付した。
- ・港南区社会福祉協議会「こうなんふれあい助成金」にて、公開講座を1回開催した。
- ・緑区地域振興課からの依頼で「子ども向け防犯ワークショップ」として公開講座を1回実施した。

②特別支援学級に通う子どもへの暴力防止(ほっと)プログラム

- ・知的障がいのある子どもも向け入所施設で、小学生向けと中高生向けに実施した。中高生にはデートDV防止をテーマに取り入れた。
- ・横浜市内小学校1校の特別支援学級にリボン・プロジェクトを活用し実施した。
- ・平塚市内の障がいのある子どもの放課後支援施設にて、職員向け研修を実施した。



③子育てがラクになるワークショップ

- ・横浜市の子育て支援拠点および地域ケアプラザの2か所にて実施した。

④各種人権啓発プログラム

- ・神奈川県教育委員会から委託を受け、高校および養護学校の教職員向けの人権研修を実施した。
- ・横浜市内中学校から依頼を受け、全校生徒に向けて人権研修会を実施した。
- ・横浜市内消防署から依頼を受け、職員対象の人権研修会を2回実施した。
- ・埼葛地区人権教育推進協議会から依頼を受け、埼玉県内の教職員を対象に人権研修会を実施した。
- ・三重県内の全寮制農業高校の生徒対象に、人権研修会を実施した。

2. 年間ワークショップ数

80回を実施。(計画は、87回)

		実績	計画
すきっぷプログラム	子ども向け 保護者向け	46	41
ほっとプログラム	子ども向け、職員向け等	5	9
子育てがラクになるワーク ショップ	保護者向け、職員向け	2	10
その他各種人権プログラム	教職員等	20	19
	高校生向け	0	1
	EKセミナー	7	7
合計		80	87

3. 行政委託事業

①神奈川県教育委員会校内人権研修事業

神奈川県教育委員会から委託を受け、高校および養護学校の教職員向けの人権研修として、参加体験型研修を13校15回実施した。

②逗子市教育委員会委託事業

逗子市教育委員会より委託を受け、「児童生徒安全確保事業(体験型安全教室)」として、逗子市立小学校5校において、小学校1年生と2年生、全27クラスにすきっぷプログラムを提供した。

4. 助成金事業

①こうなんふれあい助成金

港南区社会福祉協議会より助成金を受け、すきっぷ(子どもの護身法)プログラムの普及を目的に、公開講座を開催した。港南区内の幼稚園、保育園に広報し、就学前の子どもや保護者が参加した。

決算:

収入 事業収入	7,000	支出 諸謝金	24,000
自己資金	4,810	交通費	5,530
助成金	45,000	所費	27,280
収入合計	56,810 円	支出合計	56,810 円

②かながわ地域支援補助金

神奈川区区政推進課との協働事業により、すきっぷ(子どもの護身法)プログラムの普及を目的に、公開講座を2回実施した。神奈川区内全小学校1年生~3年生にイベントチラシを作成し、配付した。

5. 主催イベント

すきっぷ公開講座

日時	タイトル・内容	会場	参加人数
8月30日(日) 14時~15時30分	かながわ地域支援補助金区民力発揮コース 親子で学べる!とっても楽しい!	神奈川地区センター	親子 30人
10月18日(日) 14時~15時30分	子どもの護身法「すきっぷ」	神ノ木地区センター	親子 22人
2月7日(日) 14時~15時30分	こうなんふれあい助成金事業 子どもの護身法「すきっぷ」	港南区福祉保健活動拠点	親子 30人

エンパワメントかながわ活動報告会(EKセミナー2015)

日時	タイトル・内容	会場	参加人数
4月24日(金)	CAPプログラムより 暴力から自分を守る子どものチカラとは?	かながわ県民センター 11階コラボスタジオ	8人
5月29日(金)	セクハラ防止プログラムより 身近な人からの性暴力の防止を考える	いずれも 18時30分~20時30分	13人
7月31日(金)	デートDV予防プログラムより 交際相手からの暴力、10代への啓発		9人
9月25日(金)	SAP(教職員向け性暴力防止研修)より 子どもの性被害、事実と対応を知るために		6人
11月27日(金)	虐待予防のための保育士研修より 子どものサインと親への支援を学ぶヒントを		10人

1月 29日(金)	障がいのある子どものための暴力防止(ほっと)プログラムより 障がいのある子どもが安心でいるために		7人
3月 25日(金)	エンパワメントかながわ 2015年度活動のまとめ		8人

IV. 広報事業

1. 主な活動実績

① WEBを中心に団体の活動を広く告知し、会員数の拡大につなげる情報発信を行った。

- ・団体ホームページを大幅リニューアルし、7月31日に新たに開設した。
- ・イベントの告知・報告について団体facebookページとの連動で最新情報を発信した。
- ・トップページ最新ニュース(8月より)更新20回、facebookページイベント14回。
- ・CAPキャンペーン用facebookページより寄付や活動の様子を発信した。

② 啓発サイトを運営し情報を発信した

- ・デートDV110番相談サイトより、デートDVに関するイベント告知等情報を発信した。
- ・デートDV啓発サイト「それってデートDVなんじゃない?」のパソコンサイトおよび携帯サイトを運営した。

<アクセス数>

- ・団体ホームページ:27年度24,000件(旧サイト4月~7月5,800件・新サイト8月~3月18,200件)
(26年度29,000件、25年度34,800件、24年度5,200件)
- ・デートDV110番相談サイト 27年度15,000件(26年度4,800件)
- ・デートDV予防啓発サイトPC版:27年度45,000件(26年度57,000件、25年度61,000件、24年度38,000件)
- ・デートDV予防啓発携帯サイト:27年度500件(26年度1,800件、25年度5,200件、24度10,500件)

③ イベント告知を広く呼びかけるためプレスリリースを作成し報道関係各社へ配信した。

④ 社会貢献団体への寄付や人材募集やボランティア募集サイトに掲載し支援を受けることができた。

- ・gooddo…クリック数に応じた支援 年間131,983円の支援をいただくことができた。
- ・Wantedly、プラットホーム、ヤフーボランティア…団体スタッフ、ボランティア募集とイベント紹介。

⑤ デートDV予防啓発のためのグッズ制作の依頼を受け作成した

- ・相模原市より デートDV予防啓発カード 13,500枚
- ・国分寺市より「デートDV基礎知識 国分寺市版」を作成 1500冊
- ・中学生向けデートDV予防プログラムのキャラクターをモチーフにしたLINEスタンプを作成し公開。

⑥ エイズ文化フォーラムで2日間のパネル展示より団体の活動紹介を行った。



V. リボン・プロジェクト



1. 趣旨

暴力のない社会を目指していくために、エンパワメントかながわが特に必要であると考えた子どもたちにワークショップを提供していく「リボン・プロジェクト」。趣旨に賛同してくださった方からの寄付金、会員の意思で捻出した資金等を活用する。団体ホームページに実施報告を行った。

2. 実施報告

①母子生活支援施設での暴力防止プログラムの提供

母親と一緒に入所している小中学生を対象に CAP プログラムを提供した。一人ひとりが大切な人、自分の安心について一緒に考えることができた。保護者に対しては子育てが楽になるワークショップを実施した。

日時: 2015 年 7 月 25 日(保護者向け)・8 月 6 日(小学生)・8 月 7 日(中学生)

場所: 神奈川県内母子生活支援施設

参加者: [小学生向] 低学年 4 人(職員 4 人)、高学年 4 人(職員 4 人)

[中学生向] 中学生 3 人(職員 2 人)

[保護者向] 保護者 6 人(職員 1 人)

支出: 59,187 円



②高校生へのデートDV予防プログラムの提供

クラス単位での 2 日間のワークショップの中で、自分の人権に気づき、人と人が対等で尊重し合える関係性のためにできることを考えることができた。

日時: 2015 年 11 月 11 日 13 日、12 月 2 日 9 日 11 日

場所: 神奈川県内高等学校

参加者: 高校 1 年生 232 人

支出: 95,456 円



③小学校個別支援級へのほっとプログラムの提供

従来のCAPプログラムをよりわかりやすく丁寧にしたほっとプログラムにより、子どもたちが自分自身の安心を守り、暴力にあわないための具体的方法を伝えた。

日時: 2015 年 12 月 1 日、14 日、16 日、18 日

場所: 横浜市内小学校

参加者: 小学生 10 人

支出: 50,341 円



④高校生(定時制)へのデートDV予防プログラムの提供

クラス単位でのワークショップ(60 分)を実施することにより、高校生一人ひとりに「あなたはとっても大切な人」であることを伝え、寸劇を通し、人と人がお互いに大切にしあう関係であるためにできることを考えた。

日時:2016 年 1 月 20 日

場所:神奈川県内高等学校

参加者:高校 2 年生 30 人

支出:17,065 円



⑤高校生(定時制)へのデート DV 予防プログラムの提供

学年単位でのデート DV 予防プログラム(すべて含めて 120 分)を実施することにより、「あなたはとっても大切な人」であることを伝え、寸劇を通し人と人がお互いに大切にしあう関係であるためにできることを考えた。

日時:2016 年 2 月 14 日 16 日

場所:神奈川県内高等学校

参加者: 2 月 14 日高校1年生 20 人、2 月 16 日高校 2 年生 40 人

支出:37,556 円

VI. 事務局

1. 事務局体制の強化

①Panasonic 組織基盤強化事業最終年度助成事業を実施した。

組織基盤強化事業最終年度は、「応援力を集めて Social Good をめざす組織作り計画」として、引き続きコンサルトを交えた会議を重ねた。

事務の効率化を目指すために、セールスフォースを導入し、顧客管理をペーパーレス化した。

寄付集めなど共感発信力強化のために団体ホームページを全面リニューアルした。

2014 年 7 月 1 日～2015 年 6 月 30 日までの組織基盤強化事業

決算:

収入	助成金	1,950,000	支出	諸謝金	1,061,000
	自己資金	121,232		交通費	40,632
				委託費	969,600
	収入合計	2,071,232 円		支出合計	2,071,232 円

②事務局及び組織運営体制の見直し

引き続き事務局長を雇用し、事務員 1 名を雇用した(10 月退職)。

ワークショップスタッフ、電話相談員等と業務委託契約を締結した。

組織基盤強化事業終了後も、コンサルタントおよび理事等で構成されるヴィジョンミーティングを月例会議として実施した。人材育成計画として、ステップアップマップの作成に至った。

理事、それぞれが役割を果たせるよう、理事会開催時にも情報共有に努めた。